

DC-DCコンバータの立ち上がり特性評価

概要

デジタル機器内部の各種デバイスは一般に複数の異なる電圧レベルで駆動されます。通常、充電式バッテリー(2.4Vが多い)や乾電池などから、複数のDC-DCコンバータによって必要な電圧を作り出しています。

デバイスの中には、15Vといった高い電圧を必要とするものもあります。

最新のデジタル機器では、バッテリー持続時間とともに、電源ONから稼働までの時間の短縮化が重要な差別化ポイントの一つとなっています。また、電池消費時のシャットダウン制御の測定も重要となります。

アプリケーションのポイント

■ 多チャンネル入出力

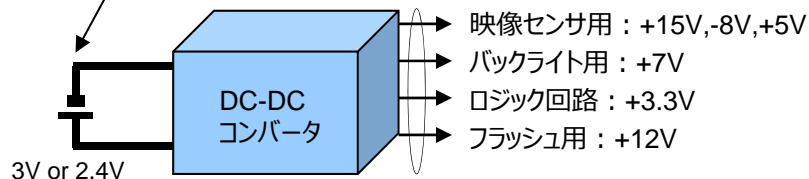
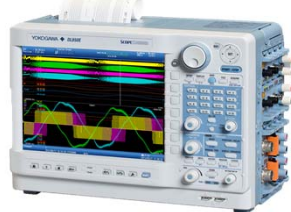
1次側の電圧と多種類の2次側の電圧値を測定するには、多チャンネルのオシロスコープは欠かせません。

デジタルオシロスコープDLM4000は8チャンネル、スコープコーダDL850Eは最大32チャンネルまで測定可能ですので、各電圧値の立ち上がり特性を同時に測定可能です。

デジタルオシロスコープ DLM4000



スコープコーダ DL850E



特長

DLM4000

- 8CH同時測定
最大2.5GS/s、ロジック16ビット入力
- ロングメモリ(最大250Mポイント)
サンプルレート1.25GS/sでも、最大0.2secの波形を捕捉 (4ch測定時)
- ヒストリ機能
過去に取り込んだ波形を最大50,000個、アキュジションメモリに保持

DL850E

- 32CH同時測定
4CHモジュールを8枚実装することにより、最大32チャンネルまで増設可能
- 多種類のモジュール
絶縁モジュールや温度、ひずみ等の多種類のモジュールを用意
- 最大2Gポイントメモリ



多出力DC-DCコンバータ立ち上がり特性